

英語科授業案

日時 平成 29 年 10 月 27 日 (金) 公開授業 I
生徒 2 年 B 組 男子 17 名 女子 18 名
授業者 吉岡 康一郎
授業場 中学校 2 年 C 組

1 単元名 Lesson 6 Internship

2 単元の目標

職場体験について書かれた文章を読むことを通して、自分がしなければならないこと、すべきことを説明するための表現を理解するとともに、自分が職場体験で学んだことについて相手と互いの考えをやりとりしながら相手に助言したり依頼・許可を求めたりする表現を理解し、自分の将来の夢について説明することができるようにする。

3 単元について

(1) 単元観

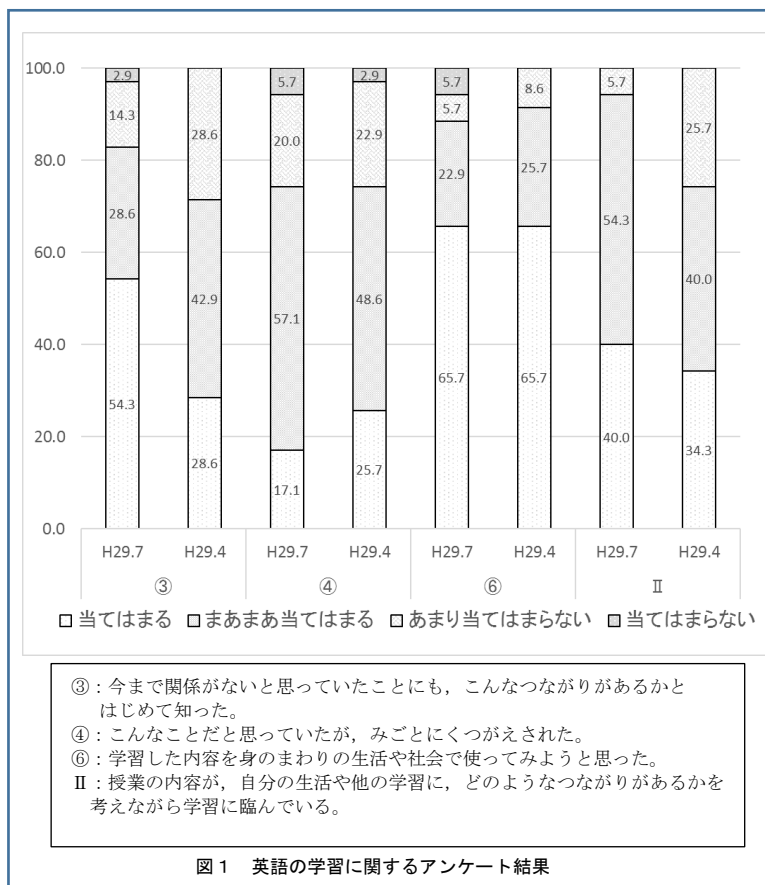
グローバル化が急速に進展する中、外国語によるコミュニケーション能力は生涯にわたる様々な場面で必要とされるようになり、これからの社会を生き抜いていく生徒にとって、より一層その能力の向上が求められている。次期学習指導要領では、「外国語で表現し伝え合うために、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築する」という「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせながら、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」の言語活動を行うことが重要であるとされている。そのような「見方・考え方」は、外国語を聞いたり読んだりすることを通じて様々な事象を捉え、情報や自分の考えなどを外国語で話したり書いたりして表現し伝え合う中で培うものであるため、これまで以上に社会や世界、もしくは他者を尊重しながら対話が図られるような言語活動を取り入れた授業の構築が必要である。こうした要請を踏まえたとき、単に自分の考えを持つだけではなく、他者の考えを聞いたり資料に書かれた内容を読んだりしながら理解することを通して自分の考えを深め、発信していくことが重要であると考え。

本単元では、登場人物が職場体験をしたことについて話している場面が取り上げられている。文法事項としては **have to** や **should** を用いた義務を表す表現や、**Will you~?** や **Can you~?** , **May I~?** などの助動詞を用いた依頼や許可を求める表現を学ぶ。そこでコミュニケーションの必要性をもちながら、学習事項を活用して表現することができるようにするために、7月に実施した職場体験活動で自身が学んだことについて考えさせながら、自分の将来の夢について英語で伝え合うことを課題とした。これは、次期学習指導要領における目標のうち、話すこと[やり取り]のイ、及び話すこと[発表]のイを目指すものであり、実際の活用場面においては、既習事項として一般動詞の過去形を用いて行った行為を説明することに加え、**to** 不定詞の名詞的用法を用いて「したいこと」や「なりたい職業」を説明したり、副詞的用法や接続詞 **because** を用いて「理由や目的」を付け加えたりしながら自分の将来の夢を相手に説明できることを目指す。また、繰り返し互いに考えを対話することを通して、相手の考えに触れながら自分の考えを深めていけるようにしたい。

(2) 目指す児童・生徒像

英語科が目指す生徒像は「外国語を通じて互いの考えや気持ちを豊かに伝え合うことができる」姿である。本単元においては、「職場体験活動で行ったことや学んだことについて英語で説明し、将来の夢について考えることを相手とやりとりする姿」とする。

授業学級である



(3) 指導観

以上のことから、本単元においては、次の点に留意して指導することとする。

本単元における「見方・考え方」と「対話的な学び」との関係性

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」は、「外国語で表現し伝え合うために、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築する」とされている。

本単元における「見方・考え方」とは、職場体験で学んだことを相手に説明したり互いに考えを交流したりすることを通して、働くことの大切さを実感するとともに、将来の夢のために必要なことを見つめ直すことができる考える。

そこで本単元では、職場体験で行ったことや学んだことを相手に説明する中で、自分の行った仕事がかのたためになっていることに気づかせ、将来の夢の実現のためにしなければならないことを考えさせることが重要だと考える。また、互いに職場体験や自分の夢について交流することで、互いに他者の考えに触れさせ、自己の考えを広げたり深めたりすることが可能になると考える。

4 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
ア 職場体験活動を振り返り、働くことの重要性や自分の夢について積極的に相手に伝えようとしている。	ア 職場体験で行った仕事や学んだことを口頭で相手に伝えることができる。 イ 職場体験で学んだことと自分の将来の夢を関連させて、自分の考えを相手に説明することができる。	ア 職場体験について書かれた文章を読んで、その内容を理解することができる。 イ 職場体験や将来の夢について相手が話した内容について理解することができる。	ア have to や should などを用いて、しなければならないことやすべきことについて説明する表現について知識を身につけている。 イ 相手に依頼したり許可を求めたりする表現について知識を身につけている。

5 学びの過程のデザイン

下支えする主体的な学び	学習活動	手立て
<p>既習事項を活用しながら、職場体験で学んだことをもとに将来の夢を英語で説明する A-①</p> <p>職場体験で学んだことや感想について表現させる。 B</p> <p>職場体験で学んだことや将来の夢について表現させる。 B</p>	<p>1 時間目</p> <p>学習課題を把握し、自分が職場体験で活動したことについて職場体験報告書をもとに振り返り、英語で説明する見通しを持つ。 関ア</p>	
	<p>2・3 時間目</p> <p>Lesson 6-1 教科書にある職場体験について書かれた対話文を読んで、内容を理解する。自分の職場体験の活動内容について説明するための表現方法について考える。 関ア 理ア</p>	<p>【教科書との対話】 教科書の内容と自分の職場体験活動と照らし合わせて、自己表現につなげる。 I-②</p>
	<p>4・5 時間目</p> <p>Lesson 6-2 教科書の対話文を読んで、職場体験で学んだことや相手の将来の夢に対して助言する表現を理解する。教科書の内容をもとに、自分の職場体験について説明する。 表ア 知ア</p>	<p>【他者との対話】 自分が職場体験でしたことだけではなく、働く意義や学んだことについて視点を持たせて考えさせる。 I-②</p>
	<p>6・7 時間目</p> <p>Lesson 6-3 教科書の対話文を読んで、他者に依頼する表現を理解する。自分の将来の夢や就きたい職業になるために必要なことを考える。 関ア 知イ</p>	<p>【教科書との対話】 将来の夢に関する職業や人物の情報を付け加える視点を持たせ、自分の考えを深めさせる。 I-②</p>
	<p>8・9・10 時間目 [本時]</p> <p>Lesson 6-4 教科書の登場人物が目指す人物について発表している場面を読んで、自分の夢を詳しく説明するために必要な情報を考える。互いの夢について質問し合いながら、自分が目指す理由について英文を作成する。 表イ 理イ</p>	<p>【他者との対話】 互いに他者の考えを聞き合い、質問し合うことにより、考えを深めさせる。 I-②</p>
	<p>11・12 時間目</p> <p>Lesson 6 Task & Project 2 教科書のスピーチ文を参考に、自分の将来の夢について考えたことについてスピーチすることができる。 関ア 表イ</p>	

6 本時について (8/12 時間目)

(1) 本時の目標

教科書の登場人物が将来の夢について発表している文章から、より詳しく情報を知るための質問をすることを通して、自分の夢について目指すことや理由について詳しく伝えるための表現を付け加えることができる。

(2) 本時における研究の視点

本時では、職場体験から学んだことや将来の夢についての考えを伝え合った上で、互いに「働く意義や目指す夢についての理由」を深める視点を持たせて質問させることで、相手の考えをより理解しようとする態度を養うとともに、自己の考えを深めるための手立てとする。

(3) 本時の展開 (○発問, △補助発問, □指示・説明)

学習活動 (下位目標)	主な働きかけ・手立て	【評価方法】 個に応じた指導
<p>1 教科書でアヤが発表した文を読んで、内容に関する質問に答えることができる。</p> <p>・ She wants to be a photographer. ・ She is talking about Urashima Koichi.</p> <p>・ 美しい・幻想的・季節の変化がわかる</p> <p>2 教科書の内容に対して、より詳しく知るための質問をペアで話し合いワークシートに書くことができる。</p> <p>・ 人に感動を与えることができるから ・ 一つのことを追いつけているから</p> <p>・ 職場体験で学んだことは何? What did you learn through your internship? ・ 夢を叶えるために頑張りたいことは? What do you have to do for your dream? ・ なぜその職業になりたいのですか? Why do you want to be (職業名)?</p>	<p>□アヤの発表を読んでわかることをペアで話してみよう。</p> <p>○What does Aya want to be in the future? △Who is Aya talking about? A-②</p> <p>○What do you think of these photos?</p> <p>○アヤはなぜ浦島さんのような写真家になりたいのだろうか。</p> <p>○アヤの考えをもっと詳しく知るためには、他にどんなことを聞けばよいだろうか。 I-②</p>	<p>【発表】</p> <p>【発表】 ピクチャーカード</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【発表】</p>
<p>職場体験で学んだことや自分の夢について英語で説明しよう。 A-①</p>		<p>【観察・ペア】</p>
<p>3 ペアで考えた質問を自分たちで質問し合い、自分の考えに理由やその他の情報を付け足すことができる。</p> <p>4 ペアが説明する職場体験で学んだことについて発表することができる。</p> <p>・ 大変だけど人の役に立つこと ・ 人のことを考えること</p>	<p>□考えた質問をペアで英語にして、互いに質問し合ってみよう。 B</p> <p>□職場体験で学んだことや自分の夢を相手に伝えてみよう。</p> <p>○職場体験で相手が学んだことはなんですか。</p>	<p>ペアを交代しながら数回行う。</p> <p>【観察 (ペア)】</p> <p>【発表】</p>
<p>5 ペアに説明した内容を踏まえて、自分の考えをワークシートに英語で書くことができる。</p>	<p>□ペアに話したことについて、自分の考えをまとめ英語でワークシートに記入しよう。</p>	<p>【ワークシート】</p>